



檜小だより

檜原学園檜原小学校



7月号

令和6年度

7月1日(月)

自発的・自治的な態度を育む

副校長 神田 裕一

過日、3年生の社会科見学に引率しました。「檜原村北地区巡り」として、「小林家住宅」「森のおもちゃ美術館」「おもちゃ工房」「郷土資料館」を見学させていただいたのですが、子供たちの活動の様子には目を見張るものがありました。担任の事前指導が行き届いていたことありますが、子供たちからは質問があれ出すようになってきて、その場で疑問に思ったことを解決し、うれしさや楽しさを感じていることが伝わってきました。

「生涯学習」という言葉を聞くようになって久しいですが、人は生涯にわたって学び、学習活動を続け、問題解決をしていくことが大事だと思います。ただ、その始まりが、自分にとっての課題や問題、興味・関心が高いことであれば、更に『解決したい』という思いが強くなるのではないのでしょうか。

学校では、毎年、教師が教育活動及び学校生活を通して、児童にとって「必要な力」・「伸ばしていきたい力」を考え、どのような手立てを工夫すれば育ていけるかを話し合っています。そして、「校内研究」という形で、実践しています。本校では、昨年度に引き続き、学級活動を中心に校内研究をすすめています。テーマは、『自発的・自治的な態度を育む指導の工夫～話し合い活動を通して～』です。自発的な態度が育まれた状態とは、「自ら問題を発見し、行動していこうとする姿」。自治的な態度が育まれた状態とは、「自分たちの問題を解決に向けて、児童自らが計画、運営をし、考えを調整したり、結び付けたりしながら学級全体で折り合いをつけて考えをまとめていく姿」だと考え、研究をすすめています。よって、「自分からすすんで課題に気付いて、行動ができ、自他の考えを整理、調整しながらより良い考えを生み出せる児童」を目指しています。

冒頭で記しました3年生の姿が、まさに自発的な態度が育まれている状態でした。個としては、このような場面を増やしていくこと。集団としては、全体の考えを調整しながら、より良い考えを生み出せるようになることが今後の課題だと考えています。

今年度末には、「積極的な姿勢が多くみられるようになった」と言われるよう全教員が一丸となって指導にあたります。

また、本日、「学校評価アンケート」を配布しております。子供たちの成長のため、ご意見等がございましたら是非ご記入ください。なお、本アンケートの回収率は100%を目指しておりますので、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

【本年度本校教員の研究主題】

自発的・自治的な態度を育む指導の工夫

～話し合い活動を通して～

7月の生活目標

ものを大事にしよう



みなさんは、ものを大事にできていますか？実は、檜原小学校では落としものがあつた時、誰のものか分からないことがほとんどありません。それは、持ち物に名前が書いてあること、友達がどんなものを持っているか知っていることで、持ち主のもとに落とし物が返っていくからです。檜原小の子達は、ものを大事にする基本は出来ていると思います。

また、学校にあるもの等、公共のものを丁寧に扱うことも大切です。机をちゃんと持ち上げて運ぶ、給食の食器を丁寧に扱う等、身近なところから物を大切に、自分の物も他人の物も大事にできるようにしましょう。物を大切にできるような素敵な心を育てていきましょう。

生活指導部

学校公開・檜小まつりにご来校いただき、

ありがとうございました

6月22日(土)に行われた檜小まつりに、ご多用の中、多数の保護者や地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

檜小まつりに向けて、6年生が中心となって、それぞれのたてわり班ごとにお店の準備を進めてきました。当日も、子供たちがそれぞれのお店の仕事にしっかりと取り組んでいる様子や、お店ごとのゲームを楽しむ様子が見られた、檜原小学校らしい、和やかな檜小まつりとなりました。



特別活動部

特別支援

今回は、檜原小学校のスクールカウンセラーの先生方をご紹介します。

一人目は週に一度、火曜日来校されている〇〇先生です。〇〇先生は、子供たちはもちろん、保護者の方の相談も受け付けています。「悩みというほどではないけど、ちょっと心配なことがある」「〇〇の時の対応方法を知りたい」など、お気軽にご相談ください。

二人目は、月に一度程度あきる野学園から来校される△△先生です。△△先生は、特別支援教育の専門家で、特別支援について詳しく知りたい場合はご相談下さい。

三人目は、村心理士の□□先生です。□□先生にはカウンセリング・各種テストから読み取れるその子の課題や支援方法についてアドバイスして下さります。

ご相談を希望される際は、事前に担任または特別支援コーディネーター等へご連絡ください。

特別支援コーディネーター

ICTの取組

今年度から Google Classroom やロイロノートを導入し、児童の学びの活性化を目指しています。これらのツールを活用することで、子供たちが個々のペースで学習を進められるようになったり、より簡単に自分の考えを共有したりすることができるようになります。檜原小学校の少人数教育の良さを生かしつつ、これからの時代を生きる子供たちがICT活用能力を身に付けられるようにサポートしていきます。子供たちにとって、どんどん身近なものになってきたICT機器ですが、ICTツールは便利な反面、使い方を誤るとトラブルに繋がる可能性も潜んでいます。ご家庭でも、ペアレンタルコントロールやフィルタリングの活用、家庭でのルール作りを通して、情報リテラシーについてもお子さんと一緒に考えていただけると幸いです。

ICT委員会

体力等調査

6月11日(火)に体力等調査を行いました。1年生にとっては初めての体力調査でした。よくやり方を聞いて一生懸命に頑張っていました。2年生～6年生は昨年度の記録を越えられるように張り切っている子が多かったです。

今年度は、体育委員会の子供たちが体力テストに向けてソフトボール投げの記録アップを目指す楽しい企画を考え運営してくれました。たくさんの子供たちが楽しそうに練習をしていました。

1年生～3年生の保護者の皆様にはお子さんの生活・運動習慣等に関する実態調査のご協力をいただきありがとうございました。体力等調査の結果は後日元気アップカードに貼りますのでご確認のうえ、ご家庭における体力向上への取組に生かしてみてください。

体育部

セーフティ教室

6月26日(水)は小中合同のセーフティ教室がありました。1・2年生はICT担当の市岡先生によるタブレットPCの使い方とネットの危険性について、3～9年生は安全なインターネットの使い方についてKDDI(株)からの講師にお話を伺いました。インターネット使用のルールについてぜひ、ご家庭でもお話し下さい。



生活指導部